

添田耕心書作展

平成二十三年十一月十五～二〇日  
銀座大黒屋ギャラリー七階

連絡先・企画制作（有）ロータスクリエイティブ  
電話（f x） 〇三―五二八四―八七八〇  
Eメール koxin@l-cr.com



添田耕心書作展

二〇二二年十一月十五日（火）～二〇日（日）  
銀座大黒屋ギャラリー七階

## ご挨拶

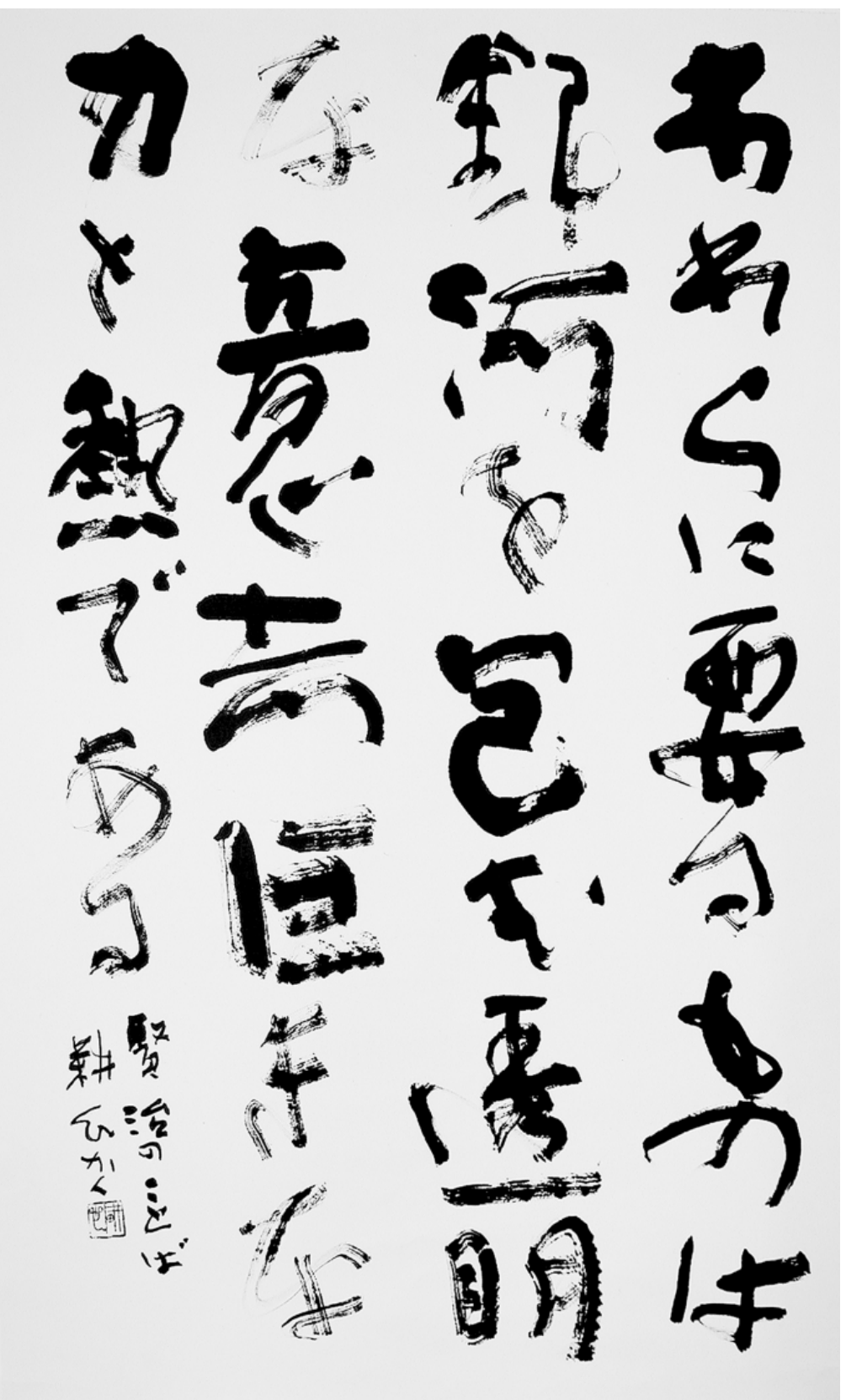
今年七月二十六日、恩師今井凌雪先生が逝去されました。最初に先生を身近に感じたのは大学入試の実技の中で行われた面接の時でした。確か顔真卿の「多宝塔碑」の拓本を出され、「この中からどれでもいいから一字選んで書いて下さい」と満面の笑みを浮かべ言われたのを思い出します。あれから三十八年が過ぎようとしています。その間、師には書を学ぶ楽しさと厳しさの両面からたっぷりと教えを頂きました。師に出逢っていなければ私の人生はこんなに充実したものになっていただろうか。心から感謝を申し上げたいと思います。

今回の個展は開催すべきかどうか迷いましたが、師を失っても書が続けていくであろう自分の覚悟と三月の震災以降、筆を持つ喜びと一日一日を精一杯生きることの大切さを実感している今の自分自身を作品にぶつけたいと思い、開催させていただきました。

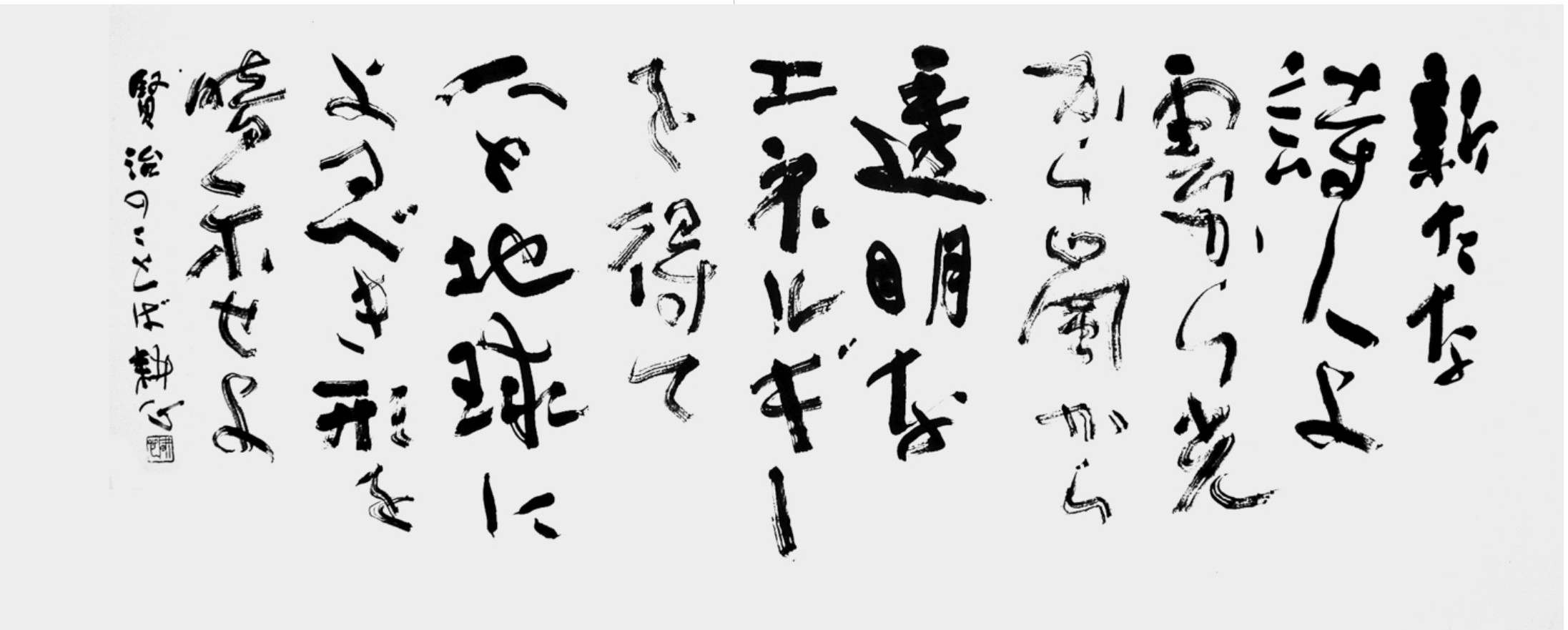
未熟な作品のオンパレードではありますが、ご指導の程何卒よろしくお願い申し上げます。

平成二十三年十一月

添田 耕心



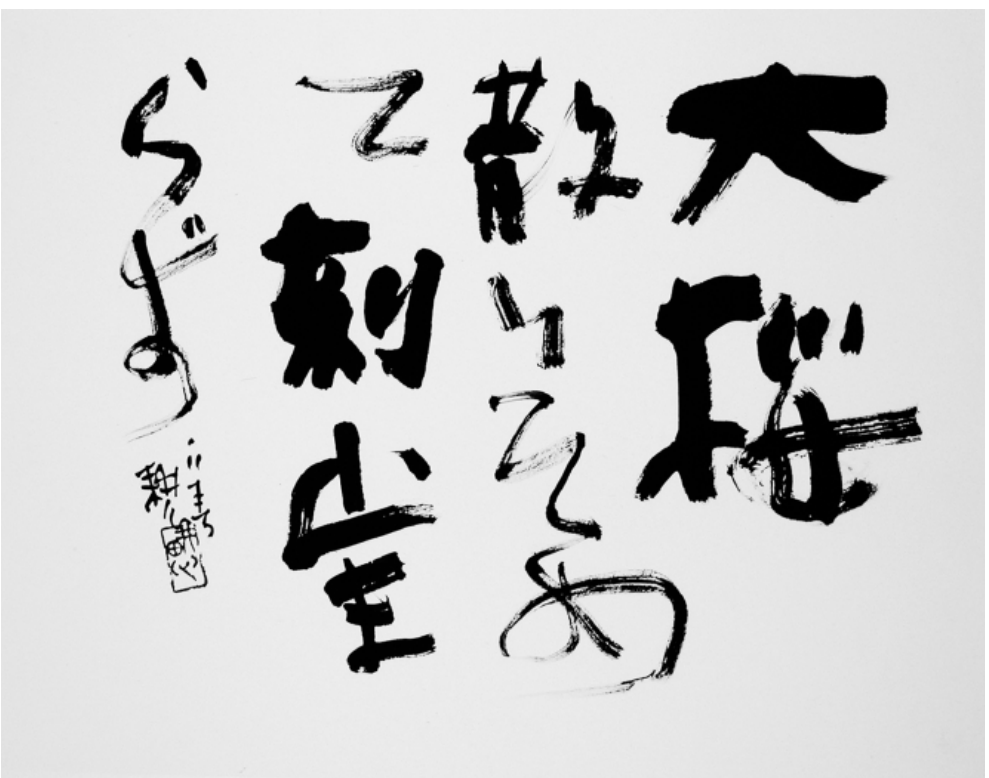
宮沢賢治のことば 113×69



宮沢賢治のことば 70×170



西脇順三郎の詩 70×69



松井利彦の句 38×51

鳥の羽に飛ぶ人の身  
鳥の翼に春の川瀬に  
野見山朱鳥の句 野見山朱鳥

北原白秋の歌 138×35

駿河の山に雲を巻く  
大空の鳥の羽に  
北原白秋の歌 北原白秋

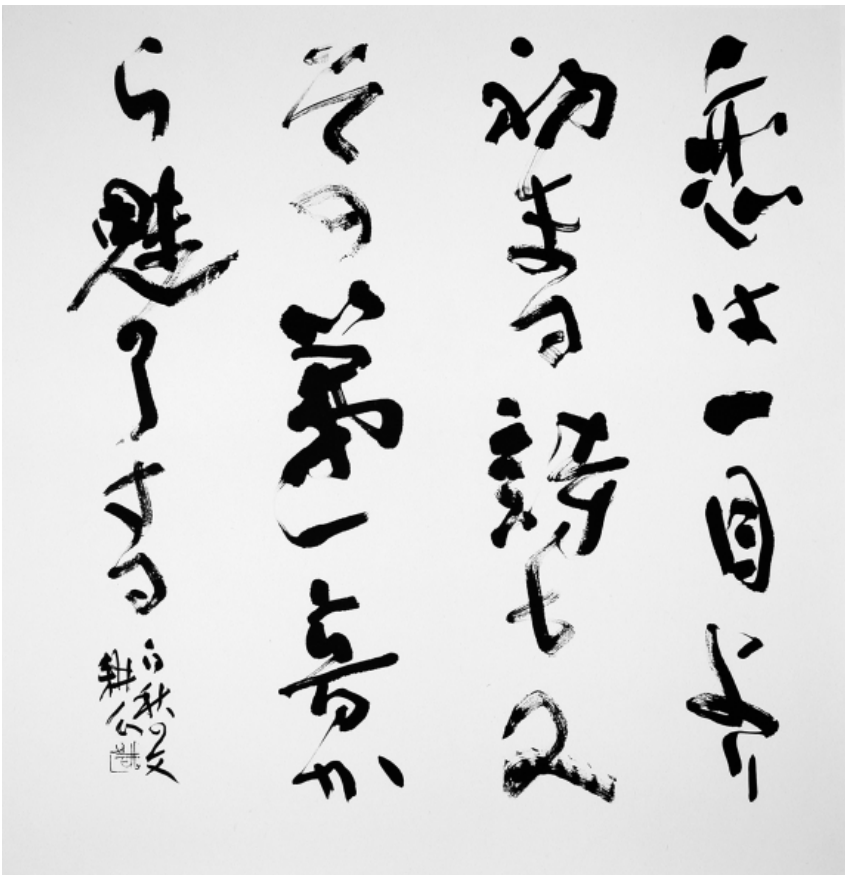
北原白秋の歌 134×30

秋の氣をくわいて  
富安風生の句 富安風生

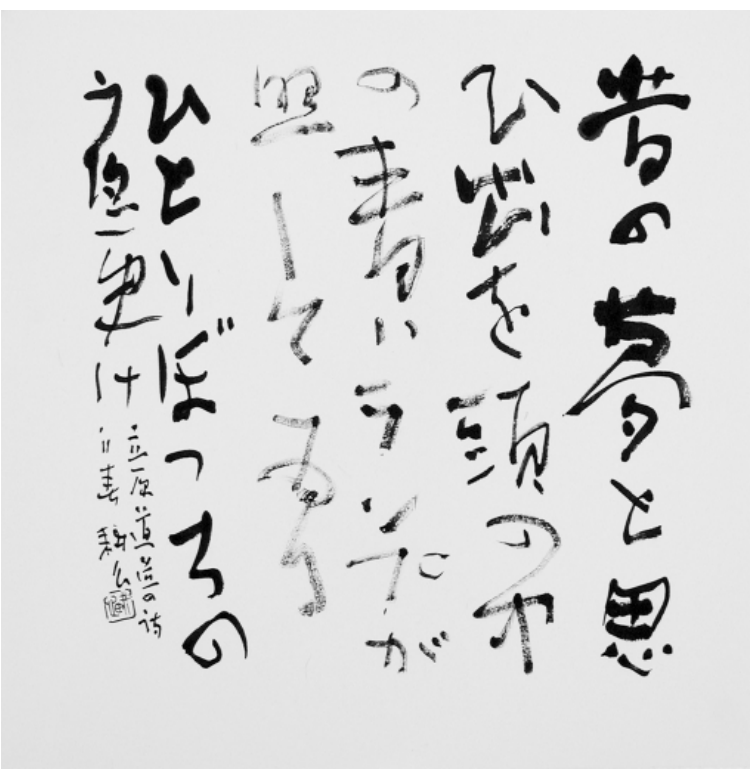
富安風生の句 134×28

結核の瘡を人の絆を  
野見山朱鳥の句 野見山朱鳥

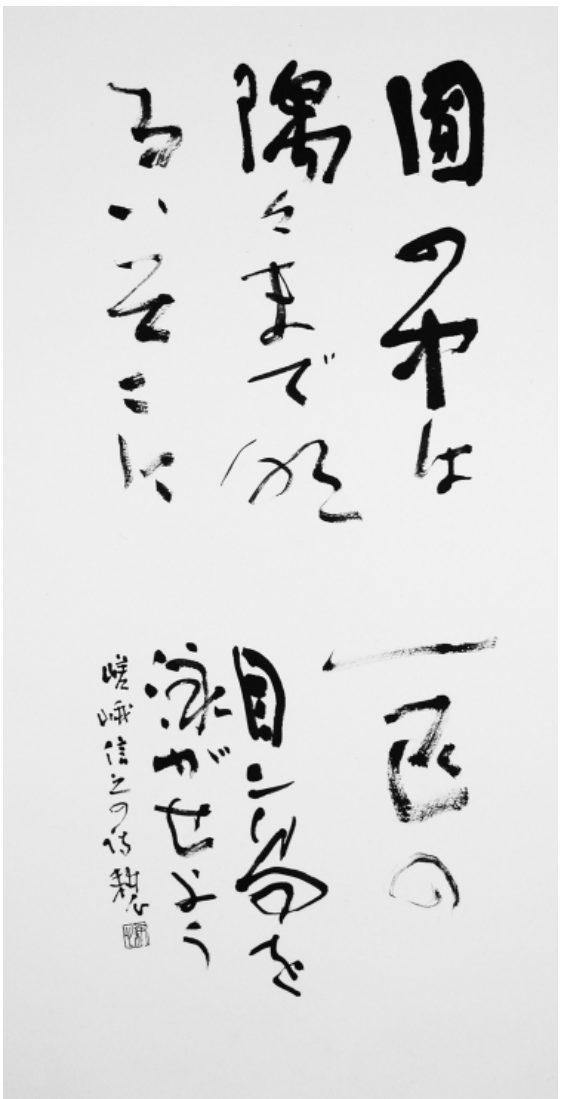
野見山朱鳥の句 120×30



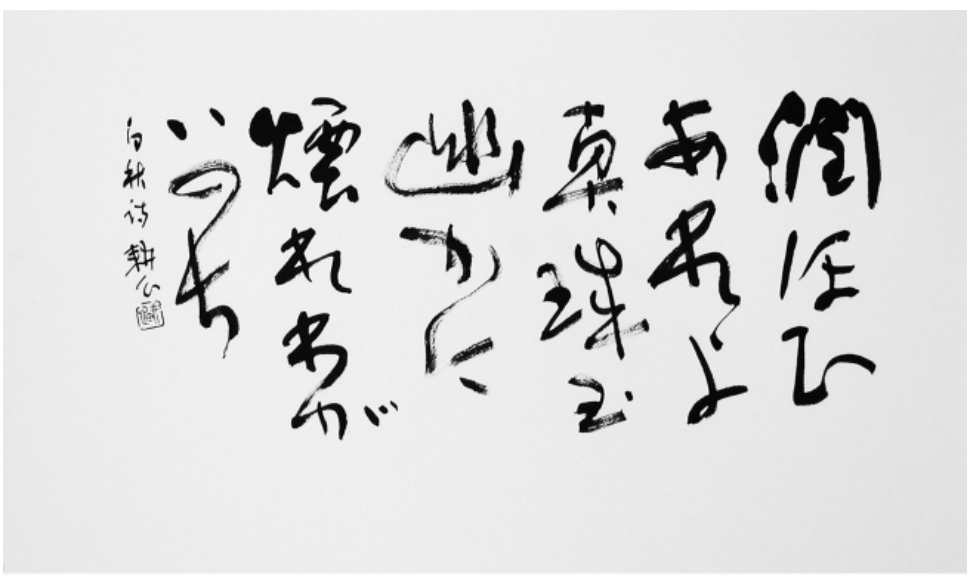
北原白秋の文 70×69



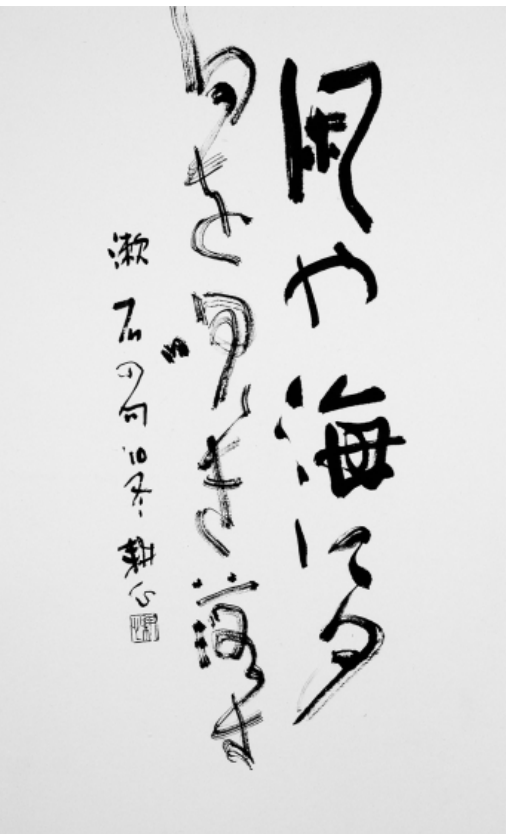
立原道造の詩 30×30



嵯峨信之の詩 68×34

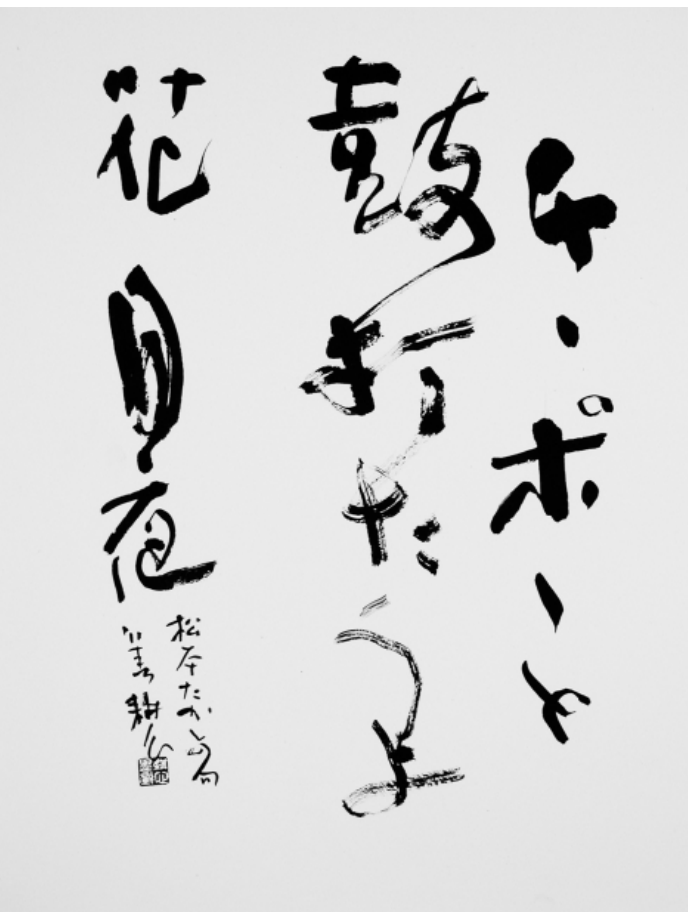


北原白秋の詩 24×43



夏目漱石の句 26×43

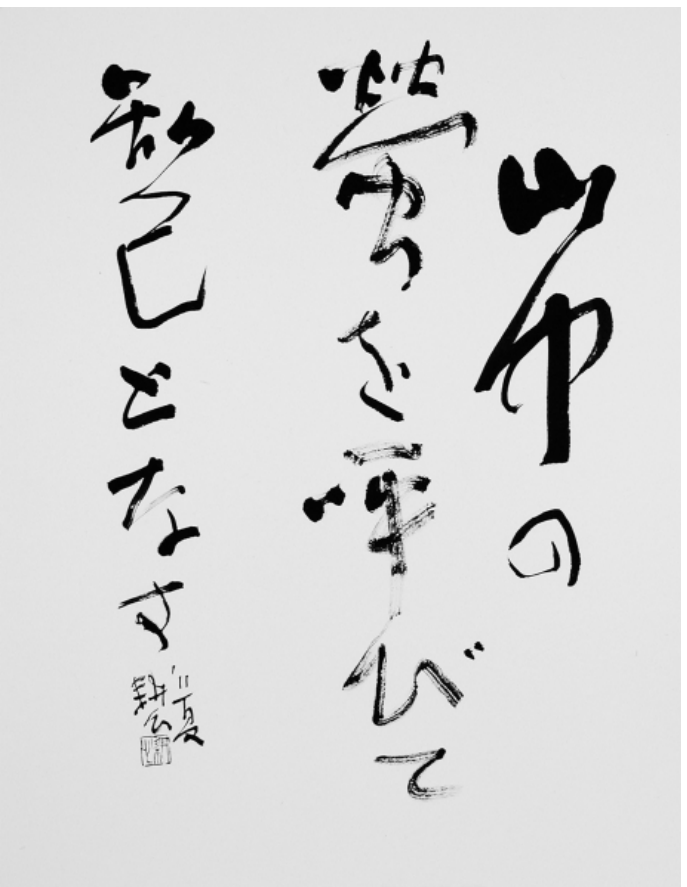




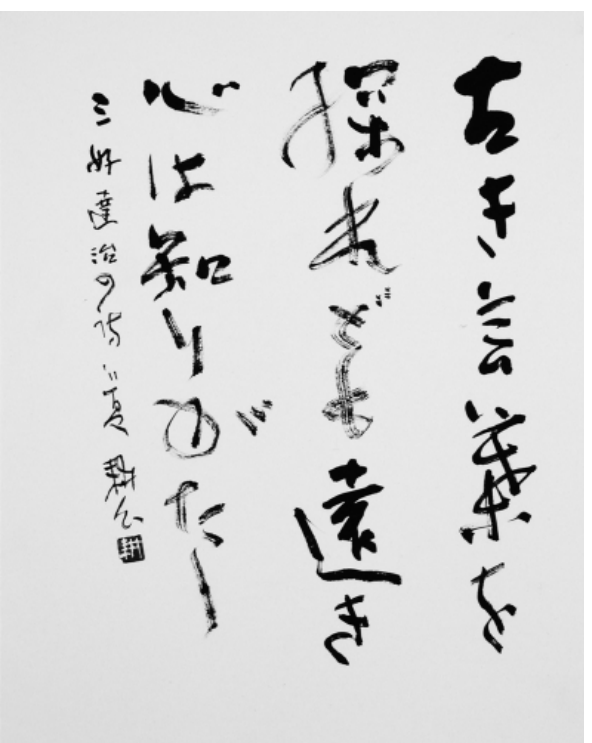
松本たかしの句 48×36



福永耕二の句 45×34



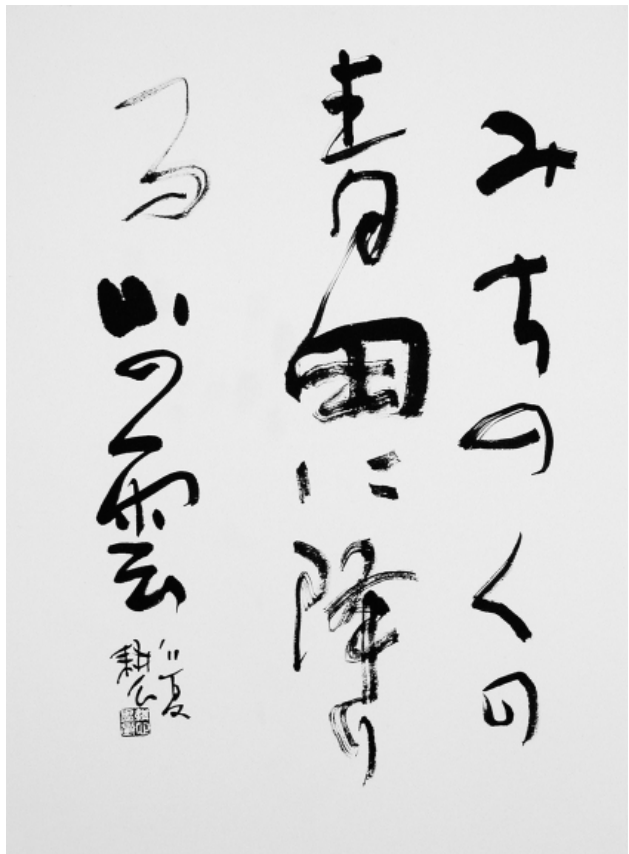
飯田蛇笏の句 46×34



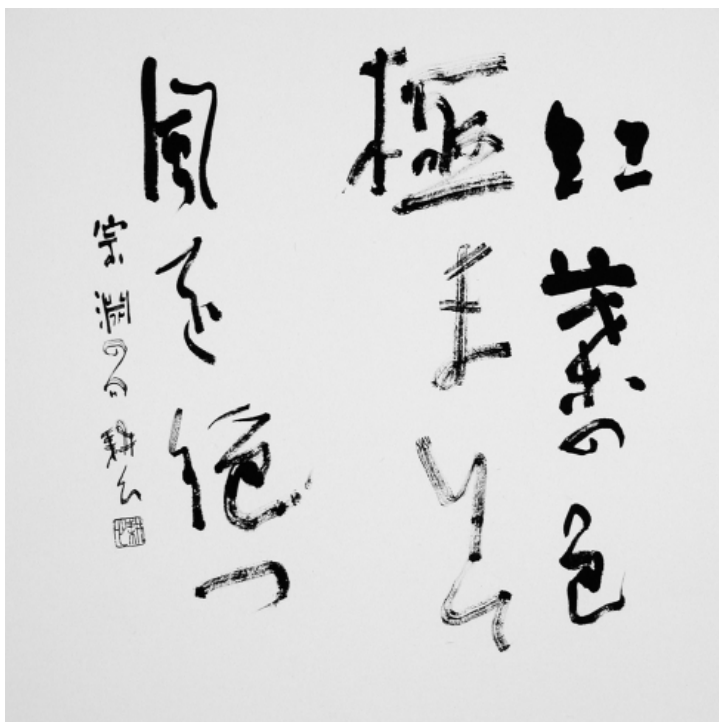
三好達治の詩 34×26



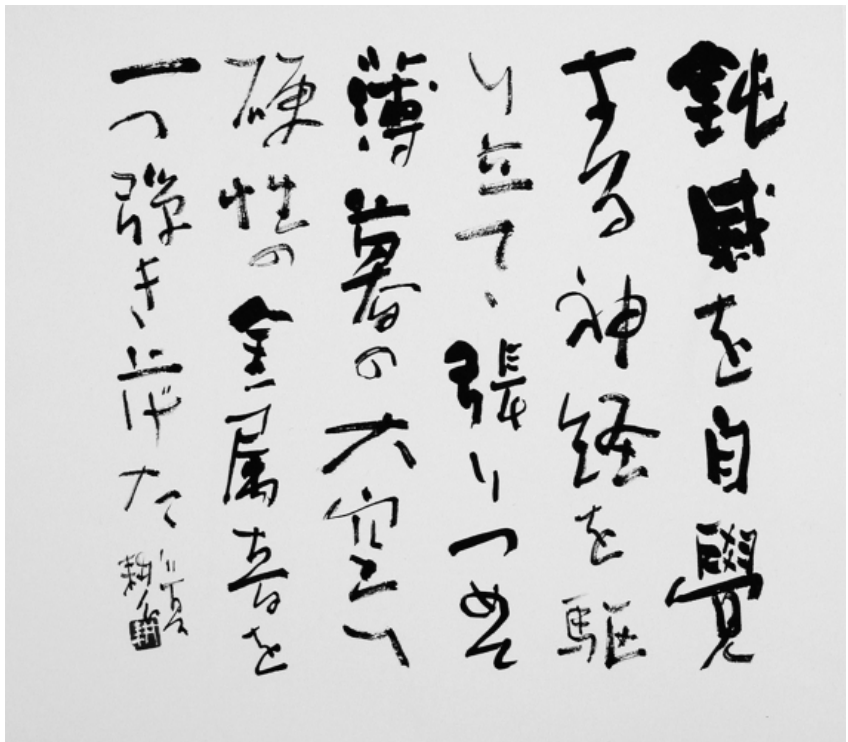
木下夕爾の句 35×26



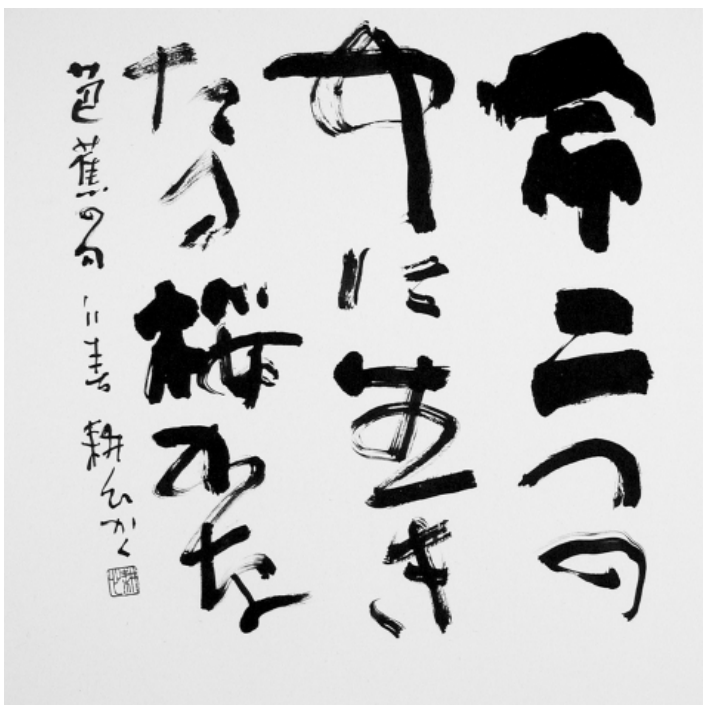
岸田稚魚の句 45×31



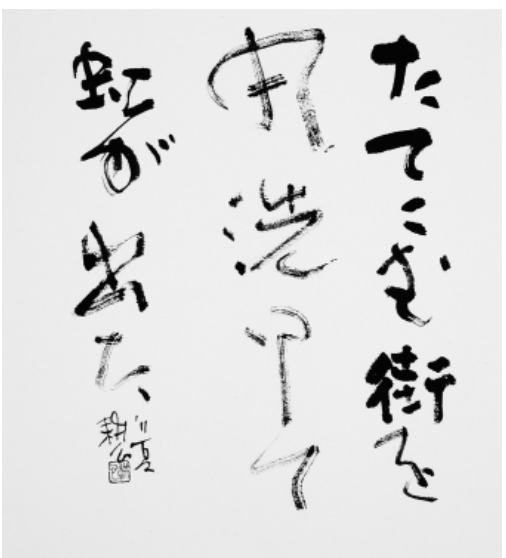
中川宗淵の句 35×34



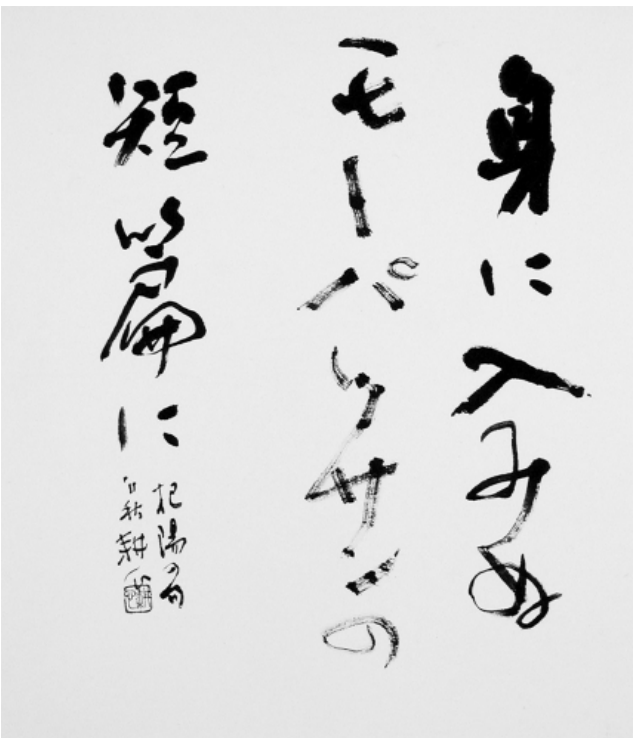
富永太郎の詩 35×26



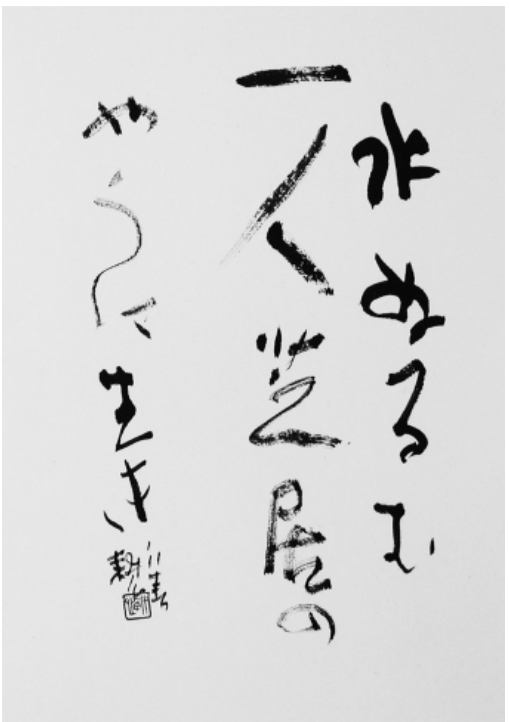
松尾芭蕉の句 35×34



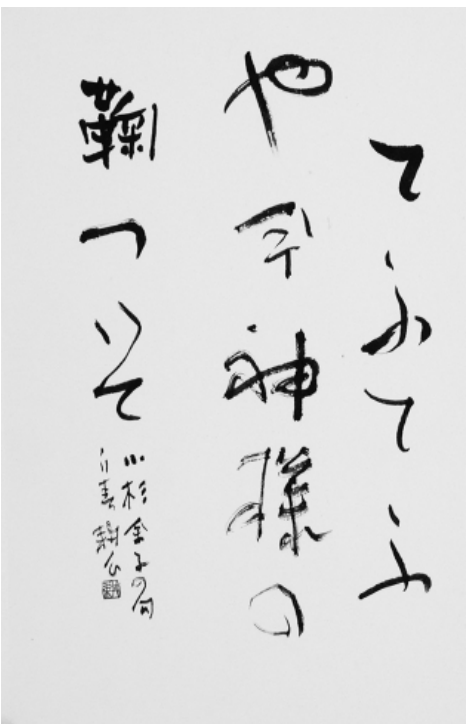
磯貝碧蹄館の句 29×26



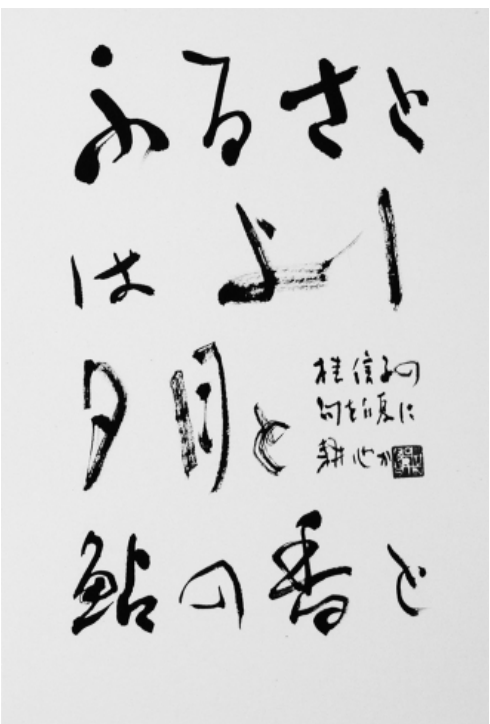
京極杞陽の句 30×26



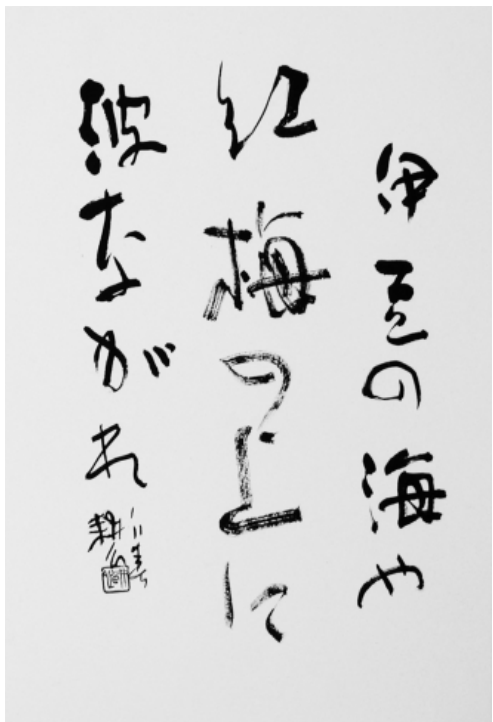
梶山千鶴子の句 26×18



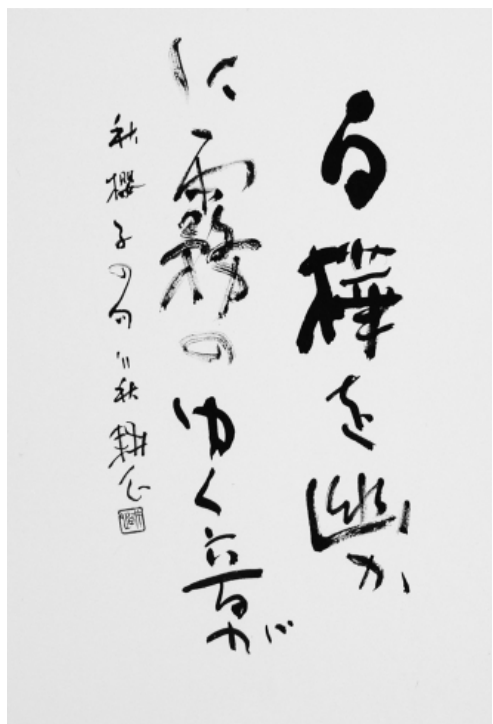
小杉余子の句 26×18



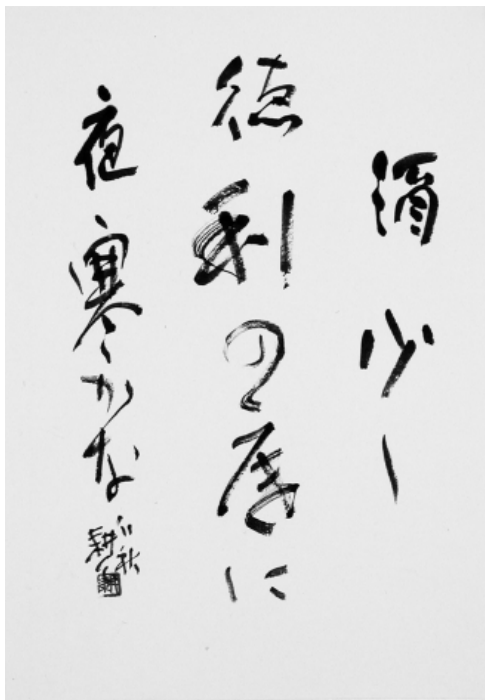
桂信子の句 26×19



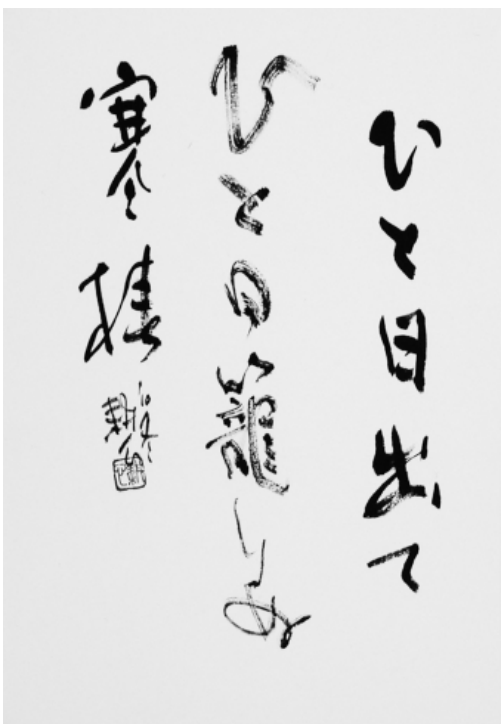
水原秋櫻子の句 26×18



水原秋櫻子の句 26×18



北原白秋の句 24×17



石田あき子の句 26×18